

グリーンたいむ



発行：グリーンコープ生活協同組合くまもと
<https://greencoop-kumamoto.jp/>



2024年度くまもとの活動まとめ



2024年度が終わろうとしています。組合員の皆様には、日頃よりグリーンコープ運動へのご理解を賜りまして、心より感謝申し上げます。

この1年を振り返ると、世界や日本を、そしてグリーンコープを見ても、さまざまなところで大きな流れや動きがありました。

まず、組合員の皆様には、牛乳を安定してお届けできない事態となり、ご心配やご迷惑をお掛けしておりますこと、お詫び申し上げます。経緯は既に書面にてお届けしておりますが、産直びん牛乳を製造いただけないとこのからスタートし、自前で飼料づくり、牧場びん牛乳製造と「新しい産直」を目指して、一歩一歩進めております。グリーンコープのこだわりの牛乳はしばらくお届けできませんが、他の生協・企業様よりこの事態のご理解、牛乳提供のご協力をいただき、組合員の皆様へ牛乳をお届けしております。お時間は頂戴しますが、新しい「産直びん牛乳」の登場を心待ちにいただけますと幸いです。

組合員が参加するカーボンニュートラルへの取り組みのスタートに向けて、地域組合員

の皆様にごのお伝えしていくのか、約2年の歳月をかけて単協理事会や地域理事会などで、どうしたら気候危機を「自分のこと」と感じることができるのかを念頭に置き、検討を重ねてきました。その間も、青果・米生産者からの気候危機による栽培のご苦労や、魚が獲れないというお話を耳にするたびに、気候危機の問題が既に起こっていると実感せずにはおられませんでした。カーボンニュートラルへの取り組みは、まだまだ続きます。5月には、組合員の皆様にお手紙を配付いたしますので、ご覧ください。

西地域本部、東地域本部、そして単協ごと、おまつりの企画を行いました。残念ながら西地域本部は台風のため中止となりましたが、コロナ禍を思い返し、おまつりを安心して企画できることが有難いと心から感じます。また、そこに集ってくださる組合員や地域の方々がおられることにも、感謝の気持ちが溢れてきます。

2025年度も、感謝の気持ちを忘れずに組合員の皆様と共に歩んでまいります。よろしくお願い申し上げます。

グリーンコープ生協くまもと

理事長 小林 香織

もくじ

1：2024年度くまもとの活動まとめ / 2：東地域本部のページ / 3：西地域本部のページ / 4～5：2024年度災害支援活動のまとめ / 6：2024年度遺伝子組み換え作物反対署名の取り組み報告、「全国オーガニック給食フォーラム」報告 / 7：わたしとグリーンコープ、こんには！ワーカーズです、市民電力関連 / 8：足と靴 相談・販売会、みんなのカーボンニュートラル、電話コーナー、リユース・リサイクル状況、編集者だより

グリーンコープ

グリーンコープは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。



© 2010 くまモン

グリーンコープ 元気くんまつり in 天草

【日時】
2025年4月12日(土)
11時～14時(予定)

【場所】中央銀天街(アーケード内)
スマイルパーク
(天草市中央新町5-9)

グリーンコープの
メーカー・生産者 22社(予定)が
この春なんと天草に大集合!
組合員じゃなくても大丈夫!
安心・安全な商品を試すチャンスです!!
ワクワクいっぱいのおまつりよ
ぜひ、ご家族で、お友だち同士で、
遊びに来てくださいね~!!



エコバッグも
忘れずに!

- ★ガラポン抽選会
 - ★スタンプラリー
 - ★ステージイベント
- その他、楽しいイベント
盛りだくさん!

お問い合わせ…西地域本部 組合員事務局
☎096-335-9811(平日、10時~16時)

会場付近の略図



グリーンコープの
離乳食
試食もやってますよ

●国際交流
会館ポルト

スマイルパーク

●本渡
商工会議所

●天草信用金庫
中央支店

↑天草市役所

国道
324
ROUTE

ステージでは…

*拓心高校郷土芸能部による牛深ハイヤ
*「ざ・からいも」の楽しい歌、その他
ダンスなど、楽しい催しがたくさん!!
みんなおいでよ!!

環境活動委員会

12/21
(土)

長嶺店カフェスペースにて キャンドルナイトワークショップを開催しました

グリーンコープでは夏至、冬至、東日本大震災の発災日である3月11日に、キャンドルを灯して日々のエネルギー問題などについて考える「キャンドルナイトの取り組み」を行っています。皆さんも取り組んでみませんか?

環境活動委員長 久保 智絵美



- マスコバド糖黒みつを使ったコーラ風ドリンク
 - エコシュリンプとジャガイモのチーズカナッペ
- 参加者からも好評でした♪



商品おすすめ活動委員会

1/30
(木)

「極」鉄フライパンの学習会の報告

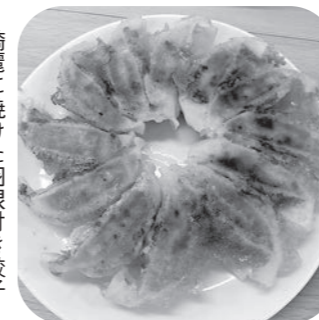
酒井産業株式会社の酒井専務をお招きし、「極」鉄フライパンの学習会を行いました。

難しいと思われがちな鉄フライパンですが、ポイントを押さえると、羽根付き餃子やハンバーグが、ふっくらプロ並みに出来上がり、とても好評でした。

商品おすすめ活動委員長 遠藤 千枝



綺麗に焼けた羽根付き餃子





2024年度 災害支援活動のまとめ



2016年4月の熊本地震から10年目を迎えるとしています。令和2年7月豪雨の発災、2024年1月には能登半島地震と、災害は予告もなく私たちの生活を脅かし続けています。グリーンコープは「被災地に寄り添う」という視点で、組合員の皆さんから寄せられたカンパ金をもとに、復興に向けてさまざまな支援活動を行っています。これから、支援は地域支援へと移っていく被災地も多くなってきています。グリーンコープは「被災者に寄り添う」ことを基本に、今後も支援活動を続けていきます。(詳しくはグリーンコープのホームページをご覧ください)



災害支援の取り組み

熊本地震

熊本地震災害支援センターを中心に活動を行っています。熊本地震の被災地である南阿蘇村と益城町での見守りを兼ねた買い物支援は、行政と社会福祉協議会との三者による協定締結も行き、地域の中でなくてはならない存在となっています。また、年末などには、組合員も参加してのイベントを開催。地域に寄り添った活動で、信頼関係を築いています。

11月3日(日)「第16回 みなみあそボランティアまつり」に参加

南阿蘇村社会福祉協議会主催のまつりに参加しました。当日は天気も良く大勢の方が来場されました。理事長、専務をはじめ、組合員、ワーカー、災害支援センタースタッフなど、総勢15人の参加でした。

新規加入者コーナーを設け、東部センターの職員が対応しました。グリーンコープの受け持ちは焼きそば、から揚げ、元気カーでの販売、来場者プレゼントとして餅つきをして餅を配るといふものです。餅つきは村の婦人会の皆さんが応援に来られ、つき上げた餅を丸めてパック詰めをしていただきました。焼きそばとから揚げは完売。元気カーは地域の皆さんに知っていただくいい機会になりました。



益城町・益城町社会福祉協議会との「買い物支援及び見守り活動に関する協定締結式」を開催



協定書を手にする、左から、益城町の西村博則町長、小林香織理事長、益城町社会福祉協議会の吉村建文副会長

11月11日(月)、益城町役場において益城町・益城町社会福祉協議会・グリーンコープ生協くまもとの三者による「買い物支援及び見守り活動に関する協定締結」を行いました。協定書への署名・記念撮影後、西村町長から「グリーンコープさんにはいつも温かいご支援をいただき、感謝しています。この場を借りてお礼申し上げます。私自身グリーンコープの組合員で、自身の健康も守ってもらっています。これからもよろしくお願ひします」と挨拶され、小林理事長からは「地震は経験せずにすむならば経験しなくても良かったことだけれど、そのことで地域のつながりの大切さを知ることができた。一度つないだ手は離さない。子どもたちの未来のためにも、手をつなぎ続けていきたい」と挨拶されました。

12月15日(日) 熊本市西区白藤団地の餅つき大会

西区白藤団地の餅つき大会に参加しました。グリーンコープからは組合員2人、災害支援センター3人です。事前の打ち合わせで「100人以上は来るだろう」ということで、もち米を20kg用意しました。

今回は、蒸したもち米を餅つき機にかけて、9割程出来たものを杵でつくことにしました。子どもから、男性、女性の皆さんもつきに来られました。餅丸めは団地の主婦の皆さんが10人程来られ、手際良くされていました。豚汁は応援の組合員に味付けをしていただきました。皆さん「おいしい」と評判でした。参加は150人程来られたそうです。皆さん喜んでいただき良かったと思います。



餅つき 餅丸め

令和2年7月豪雨

ワーカーズコレクティブ ヒトハレのメンバーで、毎週火曜日から金曜日までの週4日、訪問先を決めて「元気カー」による見守り活動を兼ねた買い物支援を行っています。また、年末にはイベントに参加するなど、地域との交流を深めています。



元気カーは雪の日も…

12月22日(日) 餅つきのお手伝い



校区の6割以上が被災した西瀬校区で子ども食堂をされている「にじのおと」主催の餅つきのお手伝いに参加しました。移動販売の訪問先である相良災害公営住宅から車で3分の所にある、上薩摩瀬公民館での開催でした。

開始時間の10時になると子どもたちが続々と集まってきて、蒸し上がった餅米をつき始めると、中学生剣道部の2人が大活躍でした。力をつく子どもたちに「最後は優しく丸めるようにつかんと餅が切れるよ」と地域のおばあちゃんが教えておられました。つきたてのあんこ餅は子どもたちに好評で、2~3個食べる子もいました。きな粉や磯辺などさまざまな食べ方で、子どもたちはたくさん食べていました。

去年、別の場所の餅つきに来られた組合員の方が「娘が、去年餅つきさせていただいた場所を通る度に、『楽しかったね〜、またしたいね〜』と言うんです。今日なら来れると思って来ました」と、1年間楽しみに待っていた女の子が赤ちゃんと一緒に来てくれました。今回も楽しそうにお餅をついていました。

能登半島地震・豪雨



組合員の代表が訪問 右から2人目が小林理事長

2024年1月1日の発災以来、グリーンコープは、現地への支援物資を運んだトラック2台と共に支援活動を開始しました。3月16日(土)には、グリーンコープ共同体より組合員の代表が能登町役場を訪問して支援の挨拶を行い、その後も共同体全体で各単協からの支援スタッフや地元の協力団体と共に、継続的に支援を行っています。

4月に入ると、熊本地震災害支援センターから炊き出しの支援(詳しい様子は「グリーンたいむ」vol.278に掲載)。4月14日(日)にはE Vキッチンカーが能登町の仮設団地へ到着し、現地での支援に大活躍しました。

熊本地震災害支援センターによる炊き出し支援第2弾は、7月27・28日の2日間、社会福祉法人グリーンコープと社福ワーカーズからのメンバーも合流し、輪島市の仮設住宅でお弁当とファイバーリサイクル衣類の配付会と、地元災害支援チームの厨房をお借りして、おにぎり・から揚げ・玉ねぎスープを作り、被災者の方々へ温かい夕食を届けました。

12月20日現在の皆さんからのカンパ金は163,585,646円となり、支援のための食材や物資の購入に役立てられています。

支援活動は今後も続いていきます。皆さんからの温かいご支援をお願いいたします。



熊本地震災害支援センターによる炊き出しの様子

こんにちは！ワーカーズです

ワーカーズ・コレクティブ
聞文 (bunbun)

上部 洋子



くまもとの機関紙「グリーンたいむ」の作成と、ホームページの更新（主に予定と報告）を担っています。機関紙は、企画をもとに原稿を依頼したり取材に向いたりして、写真やイラストを活用しながら、各自が担当する紙面を作成していきます。合間にホームページの編集をしたり、会議に参加したりと、決まった時間を無駄にしないよう、日々やりくりをしながら務めています。

紙面づくりやホームページの編集は、慣れるまで少々苦勞しますが、何かで行き詰ることがあれば、ちょっと相談するだけであっさり解決することもしばしば。少ない人数ですが、だからこそ互いに相談し、協力し合いながら楽しく働いています。

私たちは、皆さんの声（おたより）を、いつも首を長くして待っています。

わたしとグリーンコープ

私の暮らしを豊かにしているグリーンコープ

くまもと ワーカーズ
常勤理事

木戸 牧子



グリーンコープとの出会いは、子どもの頃、母が組合員だったことがきっかけです。安心・安全な食べものが身近にあり、その大切さを自然と感じて育ちました。私自身が組合員になったのは、出産を機に「子どもに安心・安全なものを食べさせたい」と思ったからです。

その後、組合員活動を行う中で、働かならんと人のつながりや助け合いを大切にしている所まで働きたいと思い、2012年、組合員事務局に入局しました。

組合員の皆さんや仲間と活動する中で、グリーンコープ運動や商品の素晴らしさに、すっかり魅了されました。また、「誰もが安心して笑顔で暮らせる社会をつくる」という理念に共感しています。

グリーンコープとの出会いは、私の暮らしを豊かにしています。この魅力が必要な方に届きますように。

2024年度 遺伝子組み換え作物反対署名の取り組み報告

皆さんからいただいた大切な署名は行政にお届けしました！

署名用紙の配布と回収期間
2024年9月9日～9月13日
2024年9月16日～10月11日



今年度の遺伝子組み換え作物反対署名の取り組みでも、昨年に引き続き街頭署名を行いました。2024年9月14日（土）、熊本市の繁華街で道行く人々に呼び掛け、136筆を集めました。

組合員から回収された署名用紙は宛先毎に集計され、熊本市へは4,435筆を11月15日（金）に、熊本県へは12,984筆を11月19日（火）に、小林香織理事長、森田弓沙西地域本部地域理事長、株元知子東地域本部地域理事長、上村猛専務理事、組合員事務局から2人が同行し、それぞれの所轄へ手渡されました。

熊本市では、オーガニック給食について活発な意見交換が行われました。小林理事長から「ぜひ『有機農業の日』の12月8日は、一品でもいいので有機の食材を学校給食で取り入れていただきたい」との意見を述べました。1月17日（金）に熊本市から届けられた回答には、「学校給食への有機農産物の導入については、環境負荷の低減や持続可能な農業への理解の醸成という観点において有効な取り組みと考えております。今後も県や農業関係団体と協調しながら、環境にやさしく、安全・安心で良質な農産物づくりを推進すると共に、オーガニック給食の効果的な導入方法について地元生産者や関係部署と共に課題整理を行い、研究してまいります」と、記してありました。

1月14日（火）に届けられた熊本県からの回答でも、「学校給食において、地域の有機農産物を含めた地場産物活用を推進することは、新鮮な食材提供に加え、子供たちの郷土理解・郷土愛の育成、地場産業の振興にもつながると考えています。一方、有機農産物の学校給食への活用は、安定的な供給や、通常の農産物に比べコスト高になるなどの課題もあるため、活用が広がっていない状況があります。県教育委員会では昨年度から、県立学校1～2校で学校給食に有機農産物等を活用する調査事業を行うと共に、栄養教諭の研修会等で、学校給食で有機農産物を活用した好事例の紹介や情報交換などを行っています。また、今年8月に熊本県学校給食会、県農林水産部、県教育委員会の三者で『学校給食における県産食材の活用推進に係る連携協定』を締結し、その取り組みの中でも、有機農産物の活用に取り組んでいくこととしております。引き続き、市町村及び庁内関係部局との連携を図りながら、有機農産物を活用した学校給食の充実を図ってまいります」と、記してありました。

上記の他、荒尾市（420筆）、玉名市（649筆）、和水町（61筆）、南関町（63筆）、菊池市（501筆）、山鹿市（599筆）、天草市（303筆）、上天草市（54筆）、苓北町（48筆）、水俣市（215筆）、八代市（1,068筆）、人吉市（194筆）、嘉島町（57筆）へ、それぞれ集まった署名を西地域本部の組合員の代表がお届けし、グリーンコープとしての考え方など意見交換しました。また、合志市、大津町、菊陽町へは、東地域本部の組合員の代表が行政訪問をしました。

「全国オーガニック給食フォーラム」に参加して

2024年11月8日に「第2回 全国オーガニック給食フォーラム in 常陸大宮」に参加してきました。「第18回 GMOフリーゾーン運動全国交流集会 in くまもと」で基調講演をいただいた鈴木宣弘氏の講演があり、「オーガニック給食に取り組むことにより、日本の農作物が消費され、日本の農業を守ることになる」とのお話がありました。

ジャーナリストの堤未果氏からは、アメリカの食生活から見た「子どもたちの健康状態が悪化していることから見えてくる超加工食品^(※1)や人口甘味料^(※2)」についての話があり、「オーガニック給食を通して世界が変わります。日本から未来を変えていきましょう」と締めくくられました。

例年ご協力いただいている「遺伝子組み換え作物反対」署名には、2023年からオーガニック給食への要望を入れています。これからも声を届けていきたいと強く思うフォーラムでした。

グリーンコープ生協くまもと 理事長 小林 香織

※1【超加工食品とは】複数の食材を工業的に配合して作られた、加工の程度が非常に高い食品。糖分、塩分、脂肪を多く含み、硬化油や添加糖、香料、乳化剤、保存料などの添加物が使用されている。
※2【人工甘味料とは】化学合成によって作られた甘味料で、砂糖の代替として使用されている。食品衛生法では、指定添加物に該当し、1日当たりの摂取許容量が定められている。



2024年度「グリーンコープでんき」のまとめ

原発のない社会の実現を目指し、2024年度の年間100件を目標とし「グリーンコープでんき」の利用拡大に取り組みしました。1月20日現在の数値にはなりましたが、新たに21件の加入につながっています。2016年度からの累計では817件となりましたが、くまもととしての累計契約1,000件は未達成です。グリーンコープ全体で4,955件となっています。くまもとの組合員参加率は、0.83%です。2024年3月には、全国の新電力への切り替え率は17.3%となっていて、原発事故があった東京電力管内が26.9%、九州電力管内は11.4%となっていて、東電管内以外のエリアでは切り替えは厳しい状況にあります。

2025年度は、これまで「グリーンコープでんき」への切り替えが難しかったオール電化向けの料金プランが登場します。「グリーンコープでんき」の低圧プラン全てが「原発フリー」に加え「実質CO₂排出ゼロ」の電気になります。（電気料金への追加負担はありません）

原発のない社会の実現に向け、環境付加価値付きの「グリーンコープでんき」を、たくさんの組合員へお知らせしながら広げていきたいと思っております。 「グリーンコープでんき」担当常務 高田 宰

グリーンコープ生協くまもとの状況（2月）

グリーン電力出資金		「グリーンコープでんき」申込状況	
2月5日現在	132,326,000円	2月5日現在	819件
目標	316,533,186円	2024年度目標	1,000件

グリーンコープでんき

お申し込みは→

申込書請求は、注文書の特別申込欄に申込番号(3995)と数量を記入し、ご提出ください。



みんなのカーボンニュートラル



グリーンコープは、2027年に事業で発生する温室効果ガスを実質ゼロにすることを目指す「2027カーボンニュートラル」に取り組んでいます。

私たち組合員も、一人ひとりができることから実践していきましょう！



グリーンコープ長嶺店で突撃インタビューしました！

(2024年11月 組合員Mさん)

Q. 教えてください！あなたの実践しているエコライフ♪

本当に基本的なことしかやっていないです
ねえ…。取り立てて意識的にやっていなかったけど、今までやっていたことが実はエコな暮らしに結びついてたんだ～という感じです。

例えば、節水。歯磨きや洗顔時、出しっぱなしにしないとか。節電でいえば、こまめに消灯するなど。あと、少しでもフードロスを減らすように気を付けて、お買い物はしていますね。

おすすめのグリーンコープ商品は？

🌿豚なんこつ味噌煮込み

産直豚のなんこつを、味噌や醤油などで柔らかく煮込んであって、ご飯もお酒もすすみます。冷凍品なので日持ちします。「あと一品」に大活躍しますよ！



お気軽に
お電話ください♡
待ってまーす！

もしもし♪ 電話コーナー



お金の問題、相談できます。
生活再生相談室

月～金/8時30分～17時30分(上天草は17時15分)
第1・3土/9時～12時
熊本相談室
☎096-243-2100
八代相談室
☎0965-45-5133
上天草相談室(土曜日は休み)
☎0969-24-8330

生活まるごと
なんでも相談できます。
ふくし情報でんわ

ごようほ ふくし
フリーダイヤル
☎0120-540-294
携帯電話からは
☎096-337-7226
月～金/10時～16時
※祝日は休み

24時間受付・年中無休
**グリーンコープ
葬祭サービス**

☎0120-222-782
フリーダイヤル
「自然庵」との協働事業です。葬儀だけでなく、相続問題やお墓、供養、法事についての相談なども受け付けています。

昼や夜の張り替え、引っ越しなど、お気軽にお問い合わせください。

生活情報誌
**くらしアップ
くまもと** ホームページ▲
☎0120-518-141
フリーダイヤル
月～金/9時～17時30分
窓口：グリーンコープレインボー



「1月は往つてしまふ。2月は逃げてしまふ。3月は去つてしまふ」とは言い得て妙だ。年が明けてからこつち、正に光陰矢の如し也。ちよつとスケジュール手帳を遡つて見てみたら、何の予定もなかった週末は、11週間の内たった1回だけだった。愉快なイベント事も過ぎたればストレス源となり、疲労が蓄積したまま季節が廻ろうとしている。春から少しはゆつたりしてみようか…とも思うが、いや、先ずは来月から新たに迎える仲間の歓迎会を企画せねば!! (磯川)



グリーンコープ生協くまもと リユース・リサイクル状況(1月分)

牛乳びん 回収率 びんが不足状態のため一時中止	カタログ 回収率 54.2%
リユースびん 回収率 88.6%	リサイクルトレイ 回収率 103.0%
仕分け袋 回収率* 21.82%	モールドパック 回収率* 176.1%

※グリーンコープ全体の回収率

発行 グリーンコープ生活協同組合くまもと

発行責任/理事会
編集/広報室
発行所/〒860-0056
熊本市西区新土河原2丁目1-1
☎096-324-8118(代)
FAX 096-324-8123
印刷所/ホープ印刷株

■東地域本部 25,925人
■西地域本部 38,029人
合計 63,954人
(2月24日現在店舗組合員を含む)

グリーンコープ生協くまもとのホームページ (<https://greencoop-kumamoto.jp/>) に最新情報更新中！
ぜひアクセスしてください。携帯電話は、こちらの二次元コードよりアクセスできます。➡

